

歳入歳出外現金管理適正化について

1.概 要

令和5年第1回定例会環境建設委員会で報告しました道路課の歳入歳出外現金で管理する屋外広告物管理委託手数料に不足が生じたことを受け、歳入歳出外現金を所管する18課へ適正管理の確認を行ったところ8課が過不足となっていたことが判明しました。

早期の事態把握と対応を図るため、田中準也副市長(会計課担当)を委員長、田中良明副市長を副委員長とし、関連部課長を委員とした歳入歳出外現金管理適正化プロジェクトを立ち上げ、原因究明と再発防止策をまとめるとともに、早期適正化をすすめてきております。

※ 歳入歳出外現金

法の規定により市の所有に属さず一時的に保管するもので、予算には計上されませんが、財務会計システムにより管理を行っています。

歳入歳出外現金残高 187,263,143 円 内訳 18 課 42 科目 (令和5年3月31日現在)

歳入歳出外現金

普通地方公共団体の所有に属しない現金であり、債権の担保として徴するもののほか、法律又は政令の規定によるのであれば、これを保管することができず(地方自治法第235条の4第2項)、具体的には、入札や契約に係る保証金、所得税等や都費歳出保管金などの保管金などがある

2.過不足の内訳

No.	科目	名称	不明金・長期保管金	内容	所管	是正処理等
1	保管金	共済組合掛金	262,427 円	平成28 年度以前 職員の共済組合掛金不明金	人事課	雑入へ処理済
2	保管金	社会保険料	▲1,351,543 円	平成28 年度以前 職員の社会保険料不明金	人事課	市費充当を検討
3	保管金	その他保管金	600円	平成27年度歳入 振込先科目不明金	会計課	雑入へ処理済
4	保証金	契約保証金	240,000円	平成27年度分 店舗保証金未返還分	事業課	事業者へ返還処理済
5	都費歳出 保管金	心身障害者 福祉費委託料	3,780円	平成24年度以前 不明金	障害 福祉課	雑入へ処理済
6	都費歳出 保管金	心身障害者 施設費扶助費	118,841円	平成24年度以前 不明金	障害 福祉課	雑入へ処理済
7	都費歳出 保管金	心身障害者 福祉費扶助費	173円	平成26年度 心身障害者福 祉費扶助費計算誤り	障害 福祉課	都へ返還処理済
8	保管金	その他保管金	1,650円	令和2、3 年度分 釣銭過誤納金	市民課	雑入へ処理済
9	保証金	住宅保証金	153,200 円	平成 24 年度以前 住宅保証金不明金	住宅課	令和5年度中に雑入へ処理予定
10	保管金	その他保管金	37,573 円	過年度 失踪者預り金不明分	生活 福祉課	雑入へ処理済
11	保管金	その他保管金	378,160円	平成 29、令和2年度 債権差押未処理金	収納課	対象者へ還付済(170,230 円)
				平成 31 年度 債権差押未処理金		滞納額充当済(35,784 円)
				平成24年度以前 不明金		令和5年度中に雑入へ処理予定 (172,146 円)

3.経 過

- 2月10日 歳入歳出外現金の適正管理の確認を 18 課あてに依頼
2月中旬 複数の課より、過不足の報告
2月22日 公金等の適正な管理について周知徹底
2月下旬 システム事業者へ、平成 24 年度以前の財務会計システムデータの抽出提供依頼
3月初旬 平成19年からのデータを各課に提供しさらなる調査依頼
3月23日 第1回歳入歳出外現金管理適正化プロジェクト
・過不足のある課より、原因及び調査経過の報告、過不足のない課の管理状況報告
・再発防止策の協議
・原因が判明した案件は、是正を進める。さらに徹底調査の指示
4月19日 第 2 回歳入歳出外現金管理適正化プロジェクト
・原因及び是正経過の報告、根拠法令の確認。再発防止策の協議
・人事課については、時効前の是正処理を進めているが、遡って詳細に照合するも原因究明困難
・住宅課については、消滅時効10年の令和5年度末に雑入とする
4月29日 例月出納検査
監査委員に歳入歳出外現金の残高に過不足が生じている旨を報告
5月23日 第3回歳入歳出外現金管理適正化プロジェクト
・経過の報告、(他自治体の調査結果)及び再発防止策の協議
・是正を行っても不足が生じている人事課分の補填について協議
5月29日 例月出納検査
監査委員に是正済みの内容と過不足の是正処理中の内容、再発防止策を報告

現在、関連課と原因の究明と情報共有を行いながら適正化を進め、現在 3 課の過不足の是正処理を継続しております。

4.発生原因

歳入歳出外現金の残高確認について、財務会計システムの歳入歳出外現金受払簿と所管の管理簿等の金額の確認の徹底がされていませんでした。

- ・ 保証金:長期間保管を行うことから、ほぼ出入りがなく残高に動きがないため確認を徹底していませんでした。
- ・ 保管金:一時的な預かりで短期間に多くの出入りがあるため、その前後の事務処理に整合性をとってはいなかったものの、時点を区切ってそれまでの残高の確認の徹底をしていませんでした。

5.再発防止策

- ① 例月の予算執行状況調査の際、歳入歳出外現金の残高確認を項目に加え、確認を徹底し、残高の不整合を生じないようにします。
- ② 3月31日の年度切替時には、財務会計システムの歳入歳出外現金受払簿の金額と各課に備える管理簿等との照合を徹底するよう周知し、報告には証拠書類等を求め会計課においても照合を行っていきます。
- ③ 外部の視点での確認のため、3 月 31 日の残高確認の内容を監査委員会事務局へ報告します。